



### 3 実践事例

#### 実践事例① 部活動指導員の有効活動

- 部活動指導員を主顧問として配置し、これまで1人顧問だった他の部を複数顧問にすることができた。このことから、部活動指導を交代で行うことができ、他の業務を行ったり休みをとることができたりして、教員の部活動指導時間の削減につながった。
- 教員が出張等で不在であっても、部活動を休みにせず、生徒は安全に部活動をすることができた。
- 専門的な指導ができない教員に代わって部活動指導を行い、教員の精神的な負担が軽減されるとともに、部活動の充実が図られた。



#### 実践事例② 最上地区市町村教育委員会協議会研修会

令和元年7月17日、「部活動・スポ少と学校・家庭との連携」をテーマに標記研修会が開催された。この中で、佐藤教育庁スポーツ保健課長の基調講演の後、最上町、真室川町から、町の部活動方針策定後の現状と課題について、アンケート調査を含めた事例発表があった。

<事例発表より>

- 限定された中、集中した練習に繋がっている
- 保護者は、家庭で過ごす時間にゆとりができたと捉えている。空いた時間を地域と繋ぐなど、有効に活用する手立てが必要。
  - ▲ 週休日の大会等の精査に苦慮している。
  - ▲ 県や他市町村と連携し、不公平感を持たれない取組が必要。最上8市町村の情報交換の場の設置

その後行われたグループ協議では、最上地域における部活動のあり方について、時間をオーバーするほどの熱い協議が行われた。

### 4 部活動方針の適用状況に関するフォローアップ調査について

#### 1 調査対象

国公立中学校・義務教育学校、市町村教育委員会、特別支援学校中学部・高等部、公立高等学校、私立高等学校

#### 2 調査時期

令和元年9月

#### 3 調査内容

- ・ 部活動方針の策定について
- ・ HP等での公表について
- ・ 部活動方針の遵守状況について など



今後、上記の内容で調査依頼しますので、御協力のほど、よろしくお願いいたします。